

とよしん 景況調査

NO.127

2022年4月発行

- 景況アンケート調査
(2022年1月～3月期実績 2022年4月～6月期見通し)
- 特別調査
- 緊急調査
- スポットライト ～がんばる地元企業～
(掲載企業：株式会社SEED)



おたくも うちも





































豊橋信用金庫

《第127回景況アンケート調査》

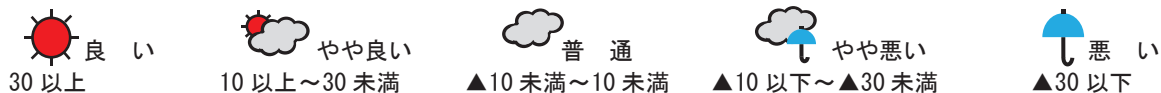
総括判断

『当地区の景況は、原油・原材料価格の高騰を背景に停滞感が見られ、厳しい状況にある。』

とよしん景況天気図(業況DI)

	2021年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	当期実績 2022年 1~3月	来期見通し 4~6月
全業種総合	 ▲17.1	 ▲12.5	 ▲11.3	 ▲5.1	 ▲11.5	 ▲6.1
製造業	 ▲24.3	 ▲10.3	 ▲9.3	 ▲4.3	 ▲14.4	 ▲10.8
卸売業	 ▲27.9	 ▲20.0	 ▲18.8	 ▲9.2	 ▲11.9	 ▲9.0
小売業	 ▲16.7	 ▲14.5	 ▲14.3	 ▲9.4	 ▲11.5	 ▲8.2
サービス業	 ▲16.7	 ▲15.8	 ▲13.0	 ▲6.3	 ▲14.1	 ▲7.1
建設業	 ▲11.9	 ▲15.1	 ▲14.0	 ▲9.8	 ▲6.6	 ▲8.5

《天気図の見方 (DI)》



《調査要領》

調査期間

2022年2月1日(火)～2月28日(月)

調査対象時期

2022年1月～3月期実績
2022年4月～6月期見通し

調査方法

当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業

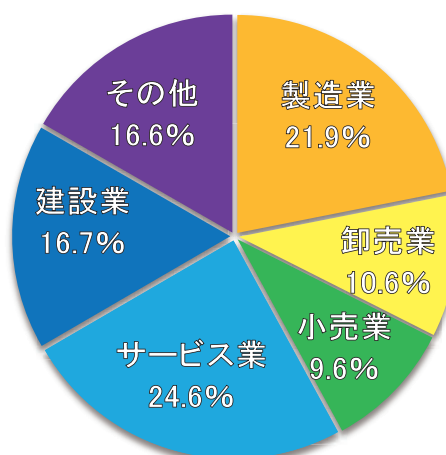
当金庫お取引先企業 635社

分析方法

DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

※DIとは、各調査項目で「増加(上昇・良い)」と回答した企業割合から、「減少(下降・悪い)」と回答した企業割合を差し引いた値を指数化したものをいいます。

調査対象企業(635社)の内訳



全業種総合

～業況・売上・収益ともに悪化～

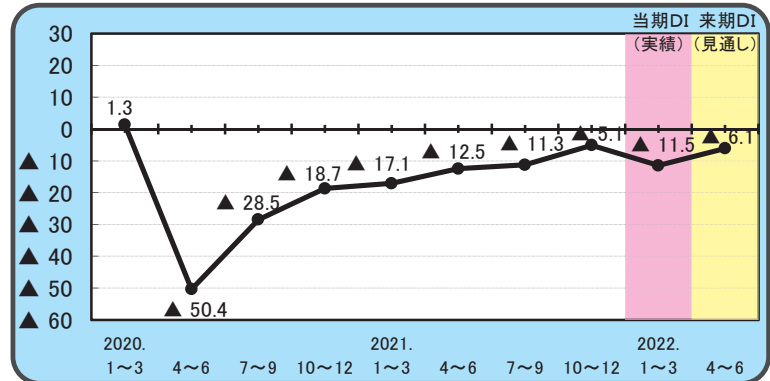
業況

【当期(1～3月)DIの実績】

▲11.5 (前期比▲6.4ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】

▲6.1 (当期比+5.4ポイント)



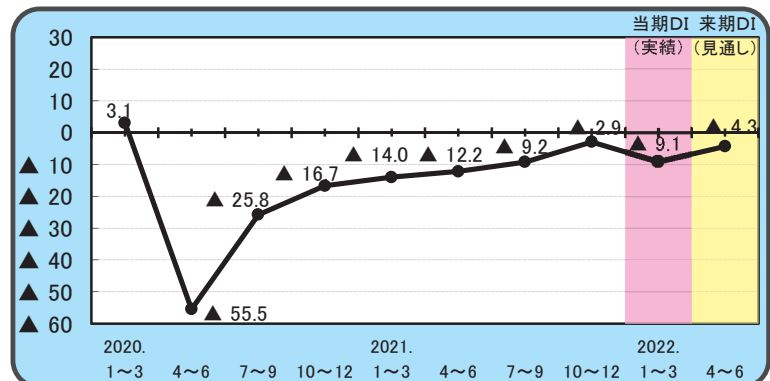
売上

【当期(1～3月)DIの実績】

▲9.1 (前期比▲6.2ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】

▲4.3 (当期比+4.8ポイント)



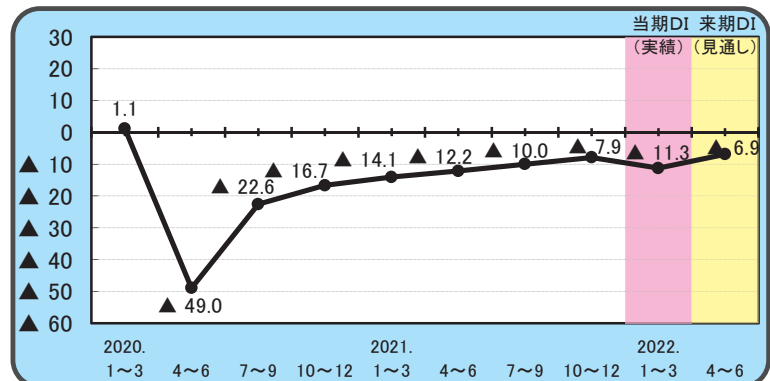
収益

【当期(1～3月)DIの実績】

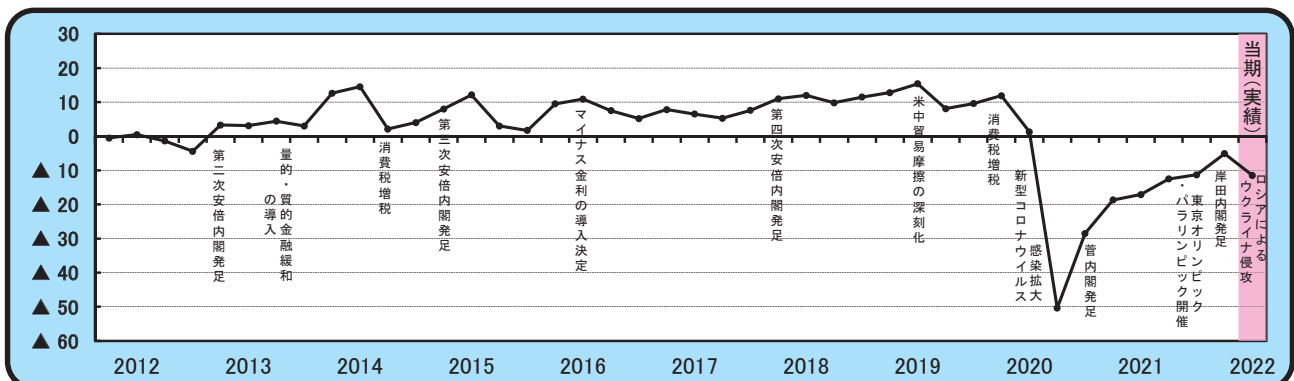
▲11.3 (前期比▲3.4ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】

▲6.9 (当期比+4.4ポイント)



過去10年間の業況DI推移



製造業

～業況・売上・収益ともに悪化～

当期業況DI
(実績)
2022年1～3月

来期業況DI
(見通し)
2022年4～6月



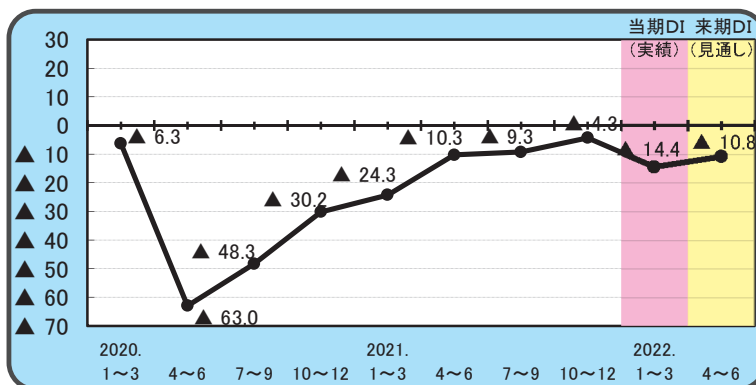
業況

【当期(1～3月)DIの実績】

▲14.4(前期比▲10.1ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】

▲10.8(当期比+3.6ポイント)



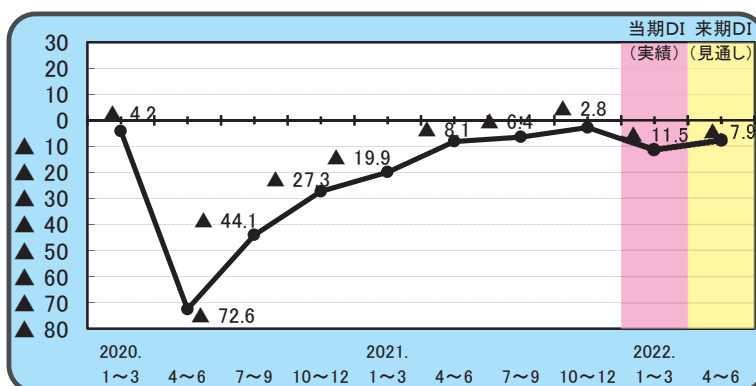
売上

【当期(1～3月)DIの実績】

▲11.5(前期比▲8.7ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】

▲7.9(当期比+3.6ポイント)



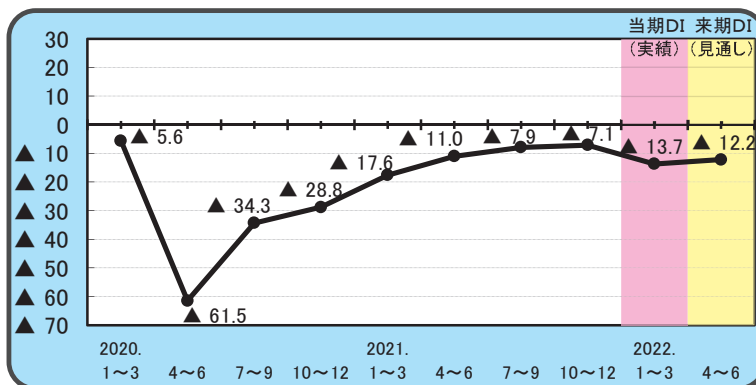
収益

【当期(1～3月)DIの実績】

▲13.7(前期比▲6.6ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】


▲12.2(当期比+1.5ポイント)



- 自動車関連については、オミクロン株の感染拡大による大手自動車メーカーの減産や工場停止の影響を大きく受けている。更にロシアによるウクライナ侵攻により、世界的な半導体生産などのサプライチェーンの混乱の下振れリスクとなっている。一部のレアメタルなどの原材料においても、ロシア産の依存度が高いため、今後の動向によっては、収益の悪化が強まる懸念がある。
- 情報通信機器関連については、高速通信規格(5G)等の普及により需要が高まるなか、人手不足による技術者の育成に懸念がある先も見受けられる。

卸売業

～業況・売上・収益ともに悪化～

当期業況D I (実績) 2022年1～3月	来期業況D I (見通し) 2022年4～6月
 ▲11.9	 ▲9.0

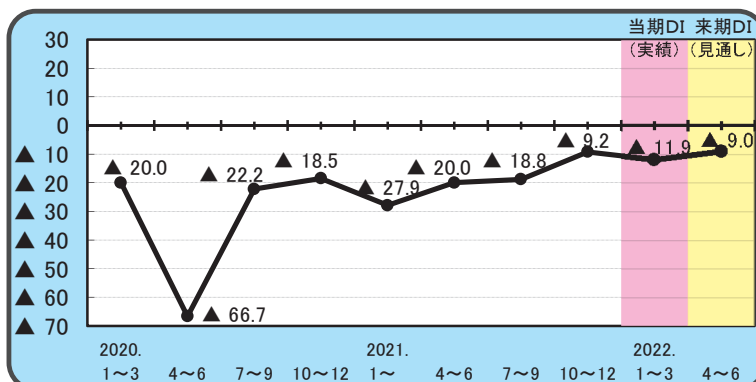
業況

【当期(1～3月)D Iの実績】

▲11.9 (前期比▲2.7ポイント)

【来期(4～6月)D Iの見通し】

▲ 9.0 (当期比+2.9ポイント)



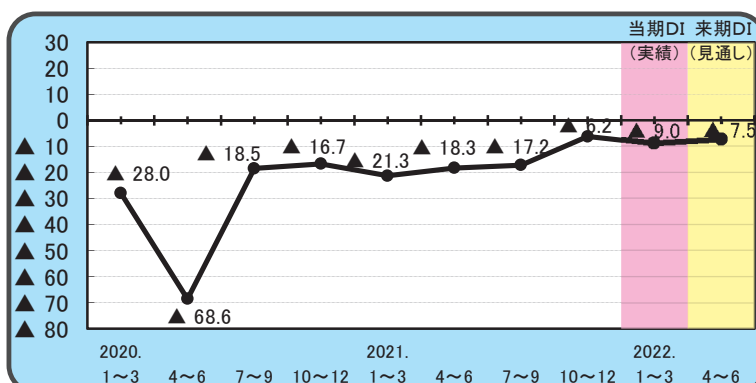
売上

【当期(1～3月)D Iの実績】

▲ 9.0 (前期比▲2.8ポイント)

【来期(4～6月)D Iの見通し】

▲ 7.5 (当期比+1.5ポイント)



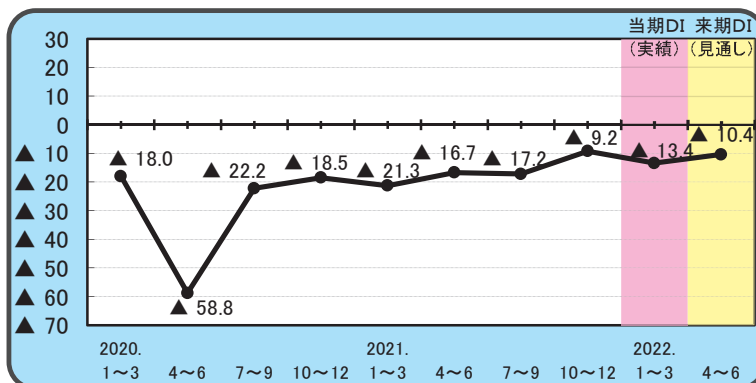
収益

【当期(1～3月)D Iの実績】

▲13.4 (前期比▲4.2ポイント)

【来期(4～6月)D Iの見通し】

▲10.4 (当期比+3.0ポイント)



- ・ 建築木材卸については、ウッドショックの影響によって仕入価格が高水準で推移しており、上昇分を販売価格に転嫁する点に課題がある。針葉樹の産地であるロシアやベラルーシの経済制裁の影響を受けて、欧州での木材供給が停滞する懸念から、仕入価格の上昇が見込まれる。一方、国内木材は環境の観点からも関心が高まっており、工場の拡張を進めている先も見られるなど、需要増加が期待されている。
- ・ 食料品関連卸については、原材料高の影響から商品価格が上昇しており、価格転嫁を図っているものの、スーパーなどの小売側との折衝に苦慮している。

小売業

～収益は改善するも
業況・売上は悪化～

当期業況D I
(実績)
2022年1～3月

来期業況D I
(見通し)
2022年4～6月

▲11.5

▲8.2

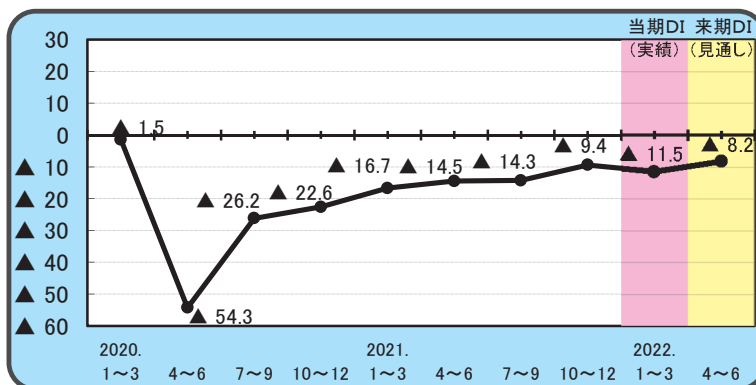
業況

【当期(1～3月)D Iの実績】

▲11.5 (前期比▲2.1ポイント)

【来期(4～6月)D Iの見通し】

▲8.2 (当期比+3.3ポイント)



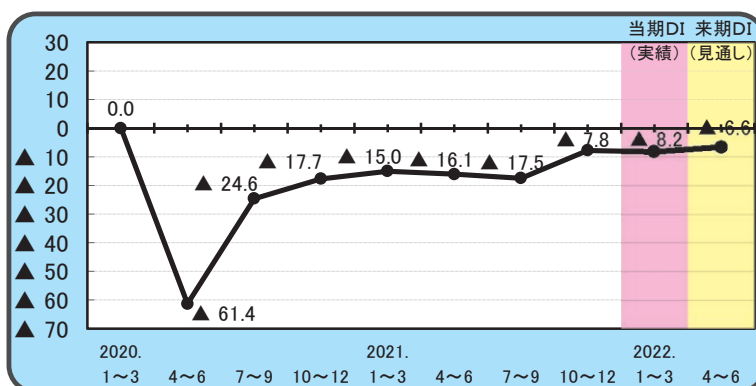
売上

【当期(1～3月)D Iの実績】

▲8.2 (前期比▲0.4ポイント)

【来期(4～6月)D Iの見通し】

▲6.6 (当期比+1.6ポイント)



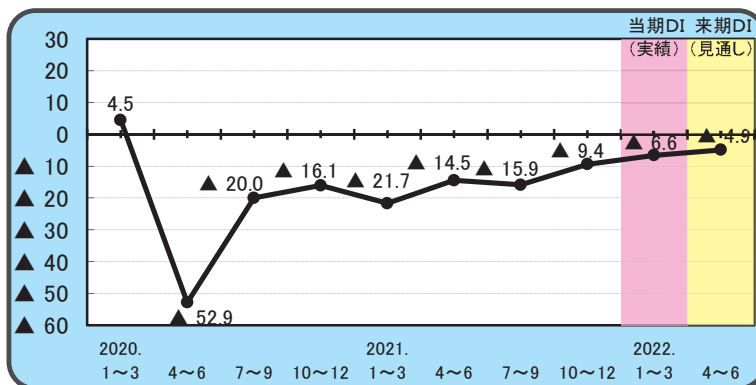
収益

【当期(1～3月)D Iの実績】

▲6.6 (前期比+2.8ポイント)

【来期(4～6月)D Iの見通し】

▲4.9 (当期比+1.7ポイント)



- ・自動車販売業については、大手自動車メーカーの減産や工場停止から、新車の納車が遅延しており、具体的な納車時期を提示できず、商談が進めることができない状況が見られている。一方、中古車販売価格は、新車販売の滞りから品薄感が続き、高値で推移している。また、ガソリン価格の高騰を受けて、燃費効率の良いコンパクトカーの売れ行きが好調となっている。
- ・ガソリンスタンドについては、原油価格の上昇やまん延防止等重点措置の影響から厳しい状況が続いており、閉店している先も見られる。

サービス業

～業況・売上・収益ともに悪化～

当期業況DI
(実績)
2022年1～3月

来期業況DI
(見通し)
2022年4～6月



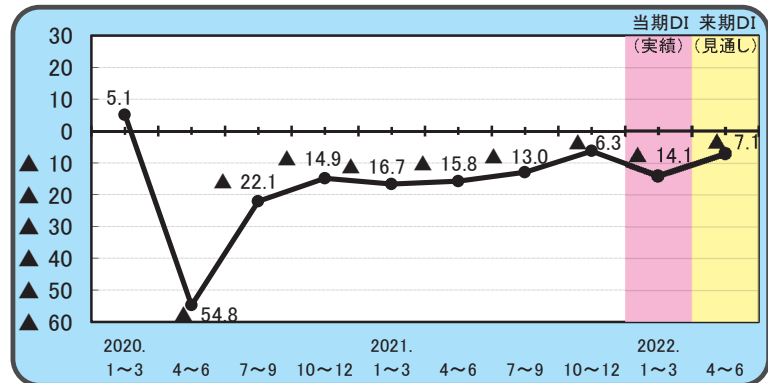
業況

【当期(1～3月)DIの実績】

▲14.1 (前期比▲7.8ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】

▲7.1 (当期比+7.0ポイント)



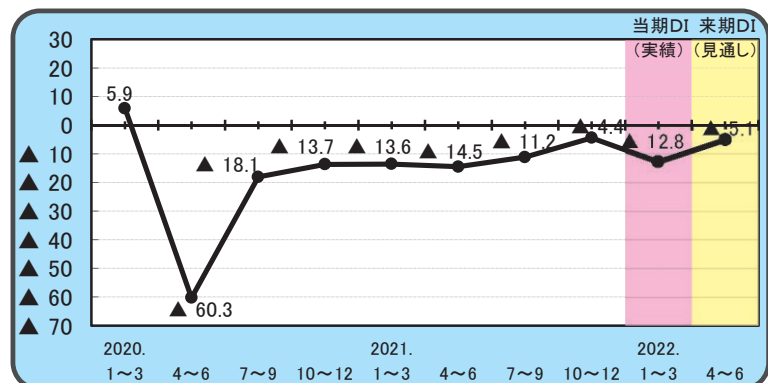
売上

【当期(1～3月)DIの実績】

▲12.8 (前期比▲8.4ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】

▲5.1 (当期比+7.7ポイント)



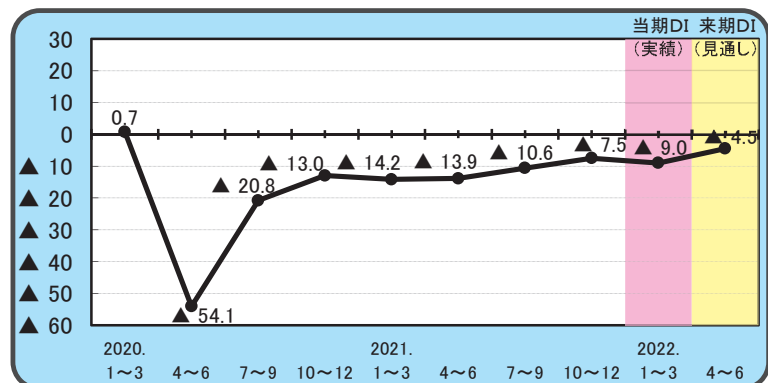
収益

【当期(1～3月)DIの実績】

▲9.0 (前期比▲1.5ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】

▲4.5 (当期比+4.5ポイント)



- ・飲食業については、まん延防止重点措置による制限によって、厳しい状況が続いており、一時休業している先も見られる。今後、歓送迎会のシーズンを迎えるため、売上の回復を期待しているものの、客足の鈍化など先行きに不安がある。
- ・ホテル・旅館業については、年末まで回復の兆しが見られたものの、オミクロン株の感染拡大の影響によって、1月以降、厳しい状況が続いている。
- ・医療・保健衛生業については、医療従事者の新型コロナウイルスの感染によって、人繰りが難しい状況となっており、更なる体制整備を進める必要がある。

建設業

～業況・売上・収益ともに改善～

当期業況DI
(実績)
2022年1～3月

来期業況DI
(見通し)
2022年4～6月



▲6.6



▲8.5

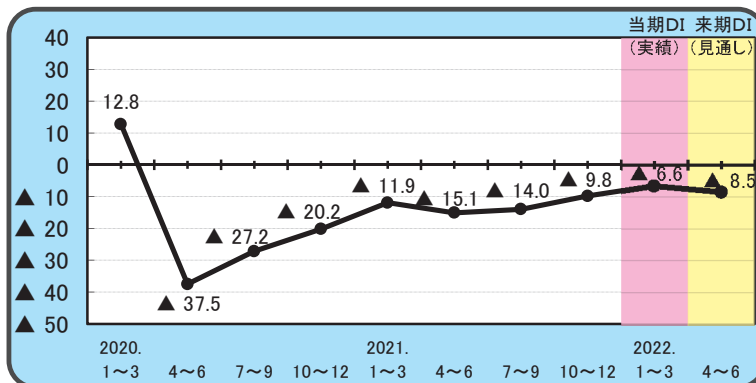
業況

【当期(1～3月)DIの実績】

▲ 6.6 (前期比+3.2ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】

▲ 8.5 (当期比▲1.9ポイント)



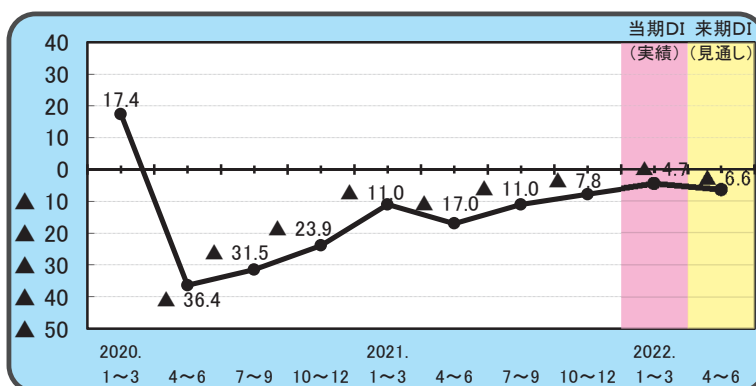
売上

【当期(1～3月)DIの実績】

▲ 4.7 (前期比+3.1ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】

▲ 6.6 (当期比▲1.9ポイント)



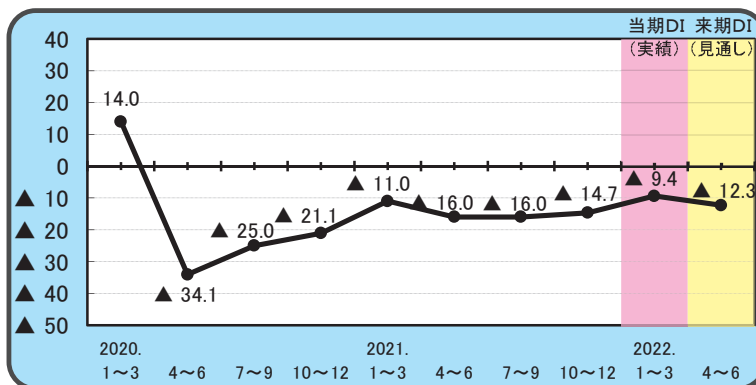
収益

【当期(1～3月)DIの実績】

▲ 9.4 (前期比+5.3ポイント)

【来期(4～6月)DIの見通し】

▲ 12.3 (当期比▲2.9ポイント)



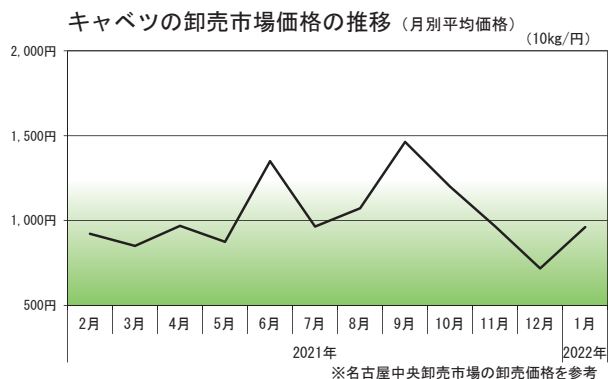
- ・建設業については、住宅需要が回復傾向にあるなか、建材価格の高騰や物流の停滞に大きな不安を抱えている。建材の調達が鈍れば、工期にも大きく影響すると予測され、売上の低下に懸念がある。
- ・公共工事については、受注が回復傾向にある。公共工事主体の業者は、民間工事主体の業者よりも業況の回復が見られるが、建材価格の高騰により収益を圧迫している。
- ・脱炭素の流れを受けて、太陽光発電の需要が再注目され、設置工事が増加傾向にある。また、原油や天然ガスの高騰による電気料金の値上げも、後押しする要因となっている。

その他

- ・農業（キャベツ・輪菊）
- ・水産業（養鰻）・運輸業・不動産業

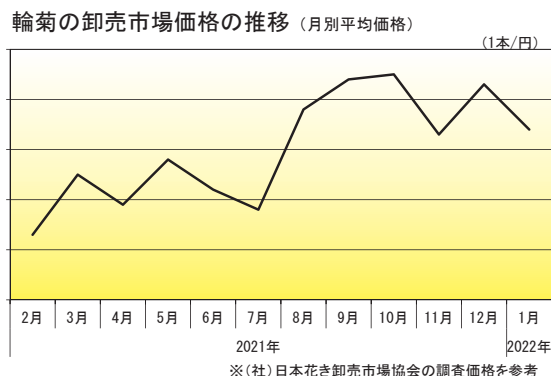
農業（キャベツ）

露地野菜のキャベツについては、悪天候や寒さの影響により出荷量が減少し、価格が上昇している。今後、気温が上昇すれば生育が進むことから供給も安定する見通しであり、飲食店等の稼働も期待できることから需要回復を見込んでいる。



農業（輪菊）

菊については、彼岸の時期に合わせ作業が佳境を迎えているが、原油価格の高騰によるコストの増加から、厳しい収益状況が続いている。また、コロナ禍における意識の変化から葬儀の規模が縮小傾向にあり、コロナ前の需要に至るには時間を要する。



水産業（養鰻）

養鰻業について、浜名湖におけるシラスウナギの捕獲量は、昨シーズンよりも減少しており、更に重油価格の高騰を受けて暖房設備への経費負担が重荷となるなど、収益の低下が懸念される。

運輸業

コロナ禍における巣籠り需要から物流量も増加傾向にあるものの、燃料価格の高騰が収益を圧迫している。燃料価格の高騰分を輸送料金に転嫁することに時間を要するため、更なる合理化、効率化を迫られるが、企業努力が難しい局面となってきた。

不動産業

豊川市では、ショッピングモール「(仮称)イオンモール豊川」の開業が2023年春頃に予定されており、周辺地域の不動産の需要拡大に期待が高まっているが、現状では、坪単価において、上昇の動きは見られていない。

《特別調査》

《調査要領》

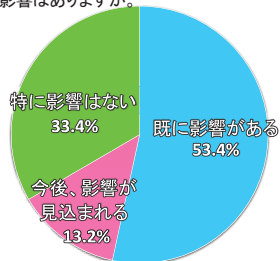
調査期間 2022年2月1日(火)～2月28日(月) 調査方法 当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業 当金庫お取引先企業 1,250社
(製造業19.7%、卸売業8.9%、小売業11.4%、サービス業24.5%、建設業19.2%、その他16.3%)

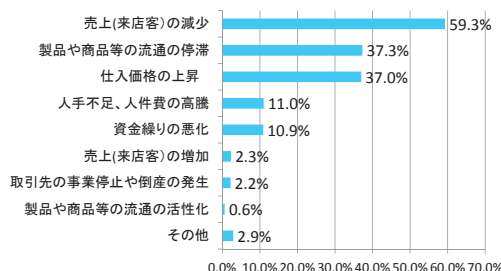
●新型コロナウイルスの変異株（オミクロン株）の影響はありますか。 また、どのような影響が出ていますか。

全業種総合の回答については、「既に影響がある」53.4%、「今後、影響が見込まれる」13.2%、「特に影響はない」33.4%となっている。「既に影響がある」と「今後、影響が見込まれる」の合計66.6%の先うち、項目別の上位(複数回答)については、「売上(来店客)の減少」59.3%「製品や商品等の流通の停滞」37.3%、「仕入価格の上昇」37.0%となっている。

変異株(オミクロン株)の影響はありますか。



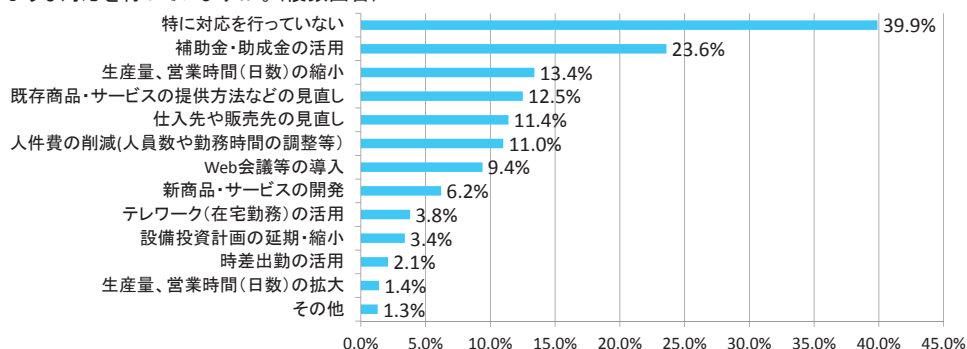
どのような影響がありますか。(複数回答)



●現状、貴社の経営活動において、どのような対応を行っていますか。

全業種総合の項目別の上位(複数回答)については、「特に対応していない」39.9%、「補助金・助成金の活用」23.6%、「生産量、営業時間(日数)の縮小」13.4%となっている。

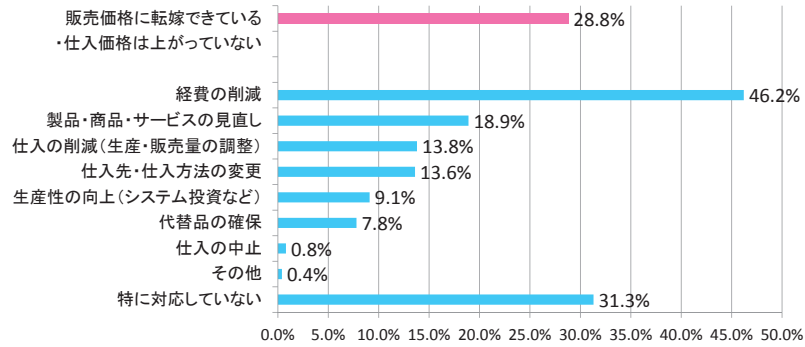
どのような対応を行っていますか。(複数回答)



●原材料・仕入価格の上昇が経営上の問題となっていますが、貴社ではどのような対応を取っていますか。

全業種総合の回答については、「販売価格に転嫁できている・仕入価格は上がっていない」28.8%となっている。残りの71.2%の項目別の上位(複数回答)については、「経費の削減」46.2%、「製品・商品・サービスの見直し」18.9%、「仕入の削減(生産・販売量の調整)」13.8%となっている。一方、「特に対応してない」31.3%となっている。

原材料・仕入価格の上昇への対応(最大3つまでの複数回答(青線))



《緊急調査》(ロシアのウクライナ侵攻による影響について)

《調査要領》

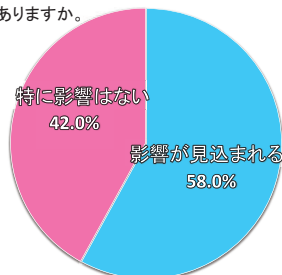
調査期間 2022年2月28日(月)～3月7日(月) 調査方法 当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業 当金庫お取引先企業 635社
(製造業21.9%、卸売業10.6%、小売業9.6%、サービス業24.6%、建設業16.7%、その他16.6%)

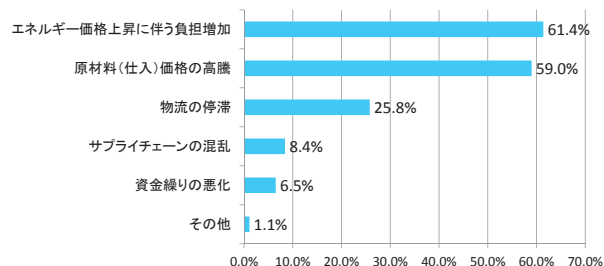
●ロシアに対する経済制裁に伴い、どのような影響が見込まれますか。

全業種総合の回答については、「影響が見込まれる」58.0%、「特に影響はない」42.0%となっている。「影響が見込まれる」先のうち、項目別の上位(複数回答)については、「エネルギー価格上昇に伴う負担増加」が最も多くなっている。

経済制裁に伴い、影響はありますか。



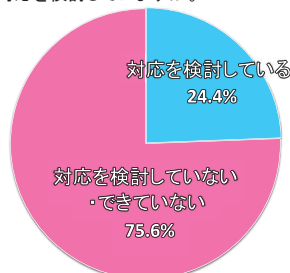
どのような影響が見込まれますか。(複数回答)



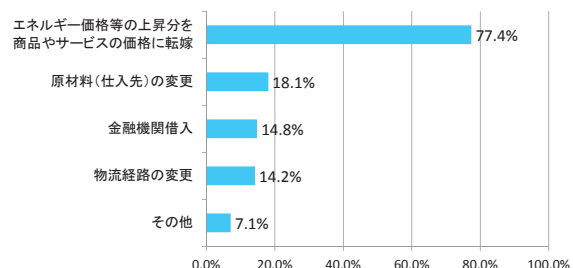
●ロシアに対する経済制裁に伴い、どのような対応を検討していますか。

全業種総合の回答については、「対応を検討している」24.4%、「対応を検討していない・できていない」75.6%となっている。「対応を検討している」先のうち、項目別の上位(複数回答)については、「エネルギー価格等の上昇分を商品やサービスの価格に転嫁」が最も多くなっている。

対応を検討していますか。



どのような対応を検討していますか。(複数回答)



スポットライト ～がんばる地元企業～



お客さまと共に成長するものづくり企業
株式会社 SEED

所在地：静岡県湖西市白須賀 6135 番地

代表者：中畑 貴功男

社員数：4名

T E L : 053-579-1177

U R L : <https://seed-kosai.co.jp/>



自社のコア技術を活かして独自商品の開発に取り組む中小精密板金業者

中小製造業でも、生活者向けの商品開発に取り組むケースがみられるようになってきた。静岡県湖西市の精密板金加工業者である株式会社SEED（代表取締役 中畑 貴功男）では、コロナ禍での生活者のライフスタイルの変化を捉え、「日常に花と癒しのある暮らし」をコンセプトに、自社のコア技術を活かした独自の鉄製インテリアの開発に取り組んでいる。

ものづくりを通して人や社会とつながり、共生する喜びの種をまく

株式会社SEED（以下「SEED」という。）は、1986年に、トヨタグループの創始者「豊田佐吉」の生誕の地である静岡県湖西市にて、先代である中畑基一郎が、(株)シード工業として創業した従業員4名の精密板金加工業者である。板厚0.4mm～6mmの鉄、ステンレス、アルミ等の加工を得意とし、産業用機械の集塵機や精密加工設備の制御盤、パーキング機器の覆い板金加工を手掛けている。ヒアリングから設計、加工、溶接、組み立てまで一貫して自社で手掛け、量産から試作まで、お客様に寄り添いながら、様々なニーズに応えている。



同業者も見学に訪れる5Sを徹底した工場

創業以来の拘り `品質と納期に対する責任、

SEEDは、創業以来、`品質と納期に対する責任、を大切に、納期遵守率は100%、不良発生は年間1～2回程度と、加工が難しい1mm厚未満の薄板需要が高まる中、限りなくゼロに近い不良率を堅持している。ものづくりへの妥協なき拘りが、お客様からの揺るぎな

い信頼を積み上げ、創業時から取引を続けている大手企業を中心に、長期の取引関係を築いている。

ひとりが主役の職人はいない。

目指すは「全員主役」のものづくり

SEEDでは、社員の働く環境と育成を重視し、「きつい・汚い・危険」という、所謂、製造業の3Kと言われる要素を取り除くことに注力している。例えば、工場内には大型空調設備を2基設置し、照明をLEDにすることで照度を高めるなど、快適な職場環境を整えている。また、機械設備等の配線を天井部にまとめることで、ヒト・モノの移動・運搬を容易にするなど、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）を徹底した工場には、見学に訪れる同業者も多い。

人材育成については、職人という「一人の主役」を育てるのではなく、全員を当たり前のように多能工にし、全員が技術・マネジメント・リーダーシップの3要素を身に着けた「全員主役」の製造業を目指している。社員には、新たな挑戦を奨励するなど、変化を生み出す企業風土を醸成している。



「全員主役」を目指し挑戦を奨励する企業風土

コロナ禍のピンチを、チャンスに変える。

メーカー以外の顧客開拓を目指して新規事業に挑戦

新型コロナウイルスのパンデミックは、日本経済は勿論、世界経済に大きな打撃を与えており、SEEDの事業領域においても、その影響は大きい。先行きが見えず、不安が広がる中で、企業の設備投資の動きが極端に弱まり、工作機械メーカーや建設機械メーカーを中心に、産業分野のメーカーにおいて、大幅な売上減少の動きがみられるようになった。それに伴い、部品の受注も大きく冷え込むこととなり、SEEDにおいても、大きな打撃を受けた。

このまま事業環境の変化に対応できなければ、中長期的には、事業継続すら危ぶまれる状況にある。SEEDでは、このピンチをチャンスに変えるために、コロナ禍で見出したニーズを、自社の技術で具体化し、メーカー以外の顧客開拓を目指すことにした。

ライフスタイルの変化から生まれた

生活者のニーズを、自社の技術（シーズ）で捉える

SEEDが目じたのは、生活者のライフスタイルの変化だ。コロナ禍におけるリモートワークの普及や、人との接触機会の減少などの影響により、日常生活において「おうち時間」が増え、不慣れな仕事・生活の環境下においてストレスが増加するなど、大きな変化が生まれている。この変化に対し、趣味でフラワーアレンジメントを習う中畑圭子専務が「自らの好きなことや、できることが社会の役に立てるのでは。」と考え、生け花が楽しく、気軽にできるようになる独自の鉄製インテリアの開発を提案した。開発にあたっては、アンケートやインタビューなど、ユーザーへのリサーチを繰り返し、社員の山田貴大さんが試作を重ね、約1年かけて商品化した。

「鉄」で、「日常に花と癒しのある暮らし」を。

独自の鉄製インテリア「はな灯和（はなびより）」

開発商品は、「日常に花と癒しのある暮らし」をコンセプトに、生け花やランプシェードに使える独自の鉄製インテリア。花や明かりを飾る意味を込め、「はな灯和（はなびより）」と名付けた。「はな灯和」は直径12cm、高さ12cmの円筒形で、立てても寝かせても使える。側面には花の茎を挿せるように、和風の柄を網状に打ち抜いている。レーザーで打ち抜く穴は、直径0.5～1cm程度の茎を通しつつ、茎が固定できるように大きさを工夫した。柄の種類は井筒割菱、麻の葉、七宝、亀甲の4種類で、子孫繁栄や健康長寿の意味を込めた。

レーザー加工や曲げ、溶接など、仕上げ塗装以外の工程は、自社で一貫して手掛けている。



独自の鉄製インテリア「はな灯和」

水を入れる専用のガラス瓶は、遠州の技術と一緒にPRしようと浜松市西区の工房に依頼した。水替えや洗浄がしやすいよう、口を広め、背丈を低めに設定するなど、ユーザー目線で細部の使い易さにも拘り、デザイン性と実用性を両立させた。水を抜いた瓶に、ろうそくやライトを入れると、模様から漏れ出る影の形を楽しむことができる。

「はな灯和」は、クラウドファンディング「Makuake（マクアケ）」で先行販売（2022年2月11日～3月30日）した後、自社ECサイトにて一般販売を開始する。

これまでに培ってきた

自社のリソースを活かして新たな挑戦を続ける

SEEDでは、現在、自社のコア技術である薄板精密板金加工技術を活かして、生活者向けのインテリア・エクステリアのオーダーメイド製品のデザイン・製作・販売に取り組んでいる。ぼんやりとしたイメージでも、ヒアリングを重ねることで、お客様の希望の形に近づけていくプロセスは、これまでの事業活動で培ってきたノウハウそのものだ。また、自社商品の開発を機に、ホームページを開設し、InstagramやLINEなどのSNSも積極的に活用するなど、新たな挑戦を続けている。



オーダーメイドのハンガーラック・宅配ボックス・看板

【豊橋信用金庫 湖西支店・事業支援部】



信ちゃん・とよちゃん

「とよしん」は、ずっとこの街といっしょです。

本店営業部 ☎ (0532) 52-0321 (代)
東支店 ☎ (0532) 54-9221 (代)
井原支店 ☎ (0532) 62-2131 (代)
藤沢支店 ☎ (0532) 46-5311 (代)
三本木支店 ☎ (0532) 48-2235 (代)
牟呂支店 ☎ (0532) 32-8000 (代)
幸支店 ☎ (0532) 37-1211 (代)
大岩支店 ☎ (0532) 41-1011 (代)
一宮支店 ☎ (0533) 93-6511 (代)
新城支店 ☎ (0536) 22-1123 (代)
赤羽根支店 ☎ (0531) 45-3911 (代)
インターネット支店 ☎ 0800-500-1048

小池支店 ☎ (0532) 45-0168 (代)
下地支店 ☎ (0532) 54-1355 (代)
問屋町支店 ☎ (0532) 32-5321 (代)
牛川支店 ☎ (0532) 54-3011 (代)
岩田支店 ☎ (0532) 61-1611 (代)
吉田方支店 ☎ (0532) 32-9000 (代)
中央支店 ☎ (0532) 56-6262 (代)
豊川支店 ☎ (0533) 85-2261 (代)
南大通支店 ☎ (0533) 89-4151 (代)
田原支店 ☎ (0531) 22-2171 (代)
新所原支店 ☎ (053) 577-2221 (代)
お客様相談所 ☎ (0532) 52-0175

二川支店 ☎ (0532) 41-0521 (代)
南栄支店 ☎ (0532) 45-4168 (代)
西支店 ☎ (0532) 32-3575 (代)
岩西支店 ☎ (0532) 63-2882 (代)
向山支店 ☎ (0532) 53-7000 (代)
向ヶ丘支店 ☎ (0532) 25-7101 (代)
東田支店 ☎ (0532) 65-9711 (代)
諏訪支店 ☎ (0533) 84-1311 (代)
小坂井支店 ☎ (0533) 72-5011 (代)
福江支店 ☎ (0531) 32-1245 (代)
湖西支店 ☎ (053) 575-1311 (代)



おたくもうちも
豊橋信用金庫

豊橋市小畷町579番地
☎ (0532) 52-0321 (代)
<https://www.toyo-shin.co.jp>

